

# 甲府市議会だより

第111号

平成8年11月1日

編集・発行  
甲府市議会だより

編集委員会  
電話 (35) 7054  
甲府市議会事務局



## (仮称)甲府市心身障害者総合福祉センター 建設工事請負契約の締結など

### 17案件を可決

### 9月定例会

九月定例会は、九月六日に招集され、会期を十三日までの八日間と決め、市長から提出された補正予算、条例の一部改正、市道路線の認定、人事案件など十七案件について審議しました。

議案に対する質疑及び市政全般に対する質問は各会派より十一名が代表質問・一般質問を行い、市長等に答弁を求めました。各常任委員会では、本会議においてそれぞれ付託された所管の案件について慎重に審査しました。

そして、最終日の本会議では、各常任委員長より付託案件の審査結果が報告され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決するとともに、銃器犯罪の根絶に関する決議、国への意見書四件についても可決しました。

このほか、平成七年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査とすることを決め閉会しました。

おもな内容・ページ

- 九月定例会要旨……………①
- 市政質問……………②
- 市政質問／定例会質問要旨……………③
- 市政質問……………④
- 市政質問／常任委員会審査の主な内容……………⑤
- 決議／決算審査特別委員会の設置／意見書／定例会審議日程……………⑥
- 議会関係各室内……………⑦
- 請願・陳情の審査結果／市政功労表彰者……………⑧

# 行財政改革

## 論議



# 市政 質問



市政全般に対する代表質問・一般質問は、九日、十日、十一日の三日間行われ、各会派より十一名の議員が、市長の政治姿勢、行財政改革、教育行政、防災対策、福祉施策、女性政策などについて、市の考え方をたどりました。

主な質問と答弁の一部についての要旨は、次のとおりです。

### 市財政 すでに

#### 「黄信号」では

【問】財政力指数の年々の低下等、市の財政は弾力性をかき、いわゆる健全財政を失いつつあると言わざるを得ない。この実態をどうとらえているのか。当局は、常に健全財政を保っている、これ迄答弁しているが、すでに黄色の信号になりつつあると心配する。「黄色の信号」さらには「赤信号」は、どの程度の数値を言うのか。

【答】財政運営の基本は、まず収支均衡を図ることが大前提であります。健全財政を判断する指標はいくつかありますが、例

えば、経常収支比率が一定数値を超えれば、財政の硬直化をもたらすことになり、財政運営に支障をきたすことになり、財政運営においての、黄、赤信号ということについては、各種財政指標が一定の範囲を超えれば黄信号であると考えております。さらにそれが悪化すれば、当然に赤信号ということになります。

そこで、これらの指標が一定の範囲を超えないように努力するとともに、財政が、時代の変化や、要請にすばやく対応できるように柔軟な財政運営を行うことが肝要であります。

### 行政経費の節減

#### 民間委託の考えは

【問】行政改革の最大の狙いは、行政の人員や組織をできるだけ小さくして、小さな自治体にするにすぎない。そして、その分だけ市民に対する事業やサービスを伸ばすことではないか。

【答】各種施設の管理を委託することで、半分以上の経費が節減されたとする報告もあります。ごみ収集や学校給食等を全面的に直営から民間委託、パート等に切り替え、スポーツ施設や福祉施設等の管理を委託し、経費の節減を図ってはどうか。

また、具体的にどのようなもの

を対象として検討しているのか。

【答】本市の事務事業の民間委託化については、「甲府市委託事務執行の適正化に関する要綱」に基づいて、委託行為が法令に抵触しないこと、公共性が損なわれないもの、行政責任の確保、市民サービスの確保、経済性が期待できるもの、これを基準として、その適正な執行に努めているところであります。現在民間委託を行っている事務事業については、八百二十七件となっております。

ご質問の、スポーツ施設、福祉施設等の各種施設の運営管理については、新総合計画の行政運営の中に位置づけを行い、さらに具体的方策等を検討してまいりたいと考えております。

### 行政のリストラ

#### ＝実行を＝

【問】財政構造改革への取り組みは、一刻の猶予も許されません。甲府市の財政再建に、まず手を付けなければならないのは、職員の削減であります。削減といっても公務員を解雇するわけではなく、採用減で、今後数年間は必要最小限の採用しかないということですか。

【答】行政のリストラが実現できるか否かは、企業と同様そのトップの意志と実行力次第と思うが、

【答】本市の行政改革への取り組みは、すでに昭和四十一年から抜本的な組織改革を実施し、行財政運営の健全化、効率化に積極的に取り組んでまいったところであり、ます。しかし、これを進める中で、特に近時のバブル経済崩壊による経済環境の悪化が引き続いている昨今の状況から、本市においても例外ではなく、この影響をまともに受け大変厳しい財政状況であります。

一方国により、地方団体の自主的、抜本的なリストラが急務との行政改革の指針が示されたところでもあります。これを受け、本市としては自主的行政改革と位置づけ、事務事業の総点検を行ってまいりました。この結果、平成七年度、八年度については、七部門二十三課の統合再編による減少と職員の削減を図ったところであり、今後につきましても、さらに事務事業の見直しを実施し、部課等の統合再編に取り組んでまいりたいと考えております。

### 「自主的行政改革」

#### 福祉・教育の削減？

【問】市の行革大綱は、市立幼稚園の廃園、留守家庭児童会や児童館の民間委託化など福祉・教育の削減を検討するばかりか、保育料

### 市民の期待

#### これに応える行政を

の軽減措置の見直しやゴミの有料化制度導入を「必要であると判断する」など、今後、大きな市民負担を求める内容となっている。また、市の組織体制については「福祉教育分野の職員数が少ない」としながらも、平成十二年までに5%の人員削減を計画している。地方自治体本来の公的責任をないがしろにする自治体のリストラは行うべきではない。

【答】国及び地方団体とも、引き続き大変厳しい財政環境にあることは、ご承知のとおりであります。こうした状況をどう打開し、住民の負託に応えるのか重要なことであると認識をしているところであります。

このためには、「時代をこえて変わらない価値のあるもの」を大切にしながら、「時代の変化」とともに変えていく必要があるものに的確かつ迅速に対応していくことが、行政に課せられた課題であります。

今次の本市自主的行政改革については、まず、国の行政改革の方針を基本として、さらには、市議会の「行政の効率化に関する調査特別委員会」の調査報告や「甲府市行政効率化市民研究会」の提言を踏まえて、住民福祉の向上のため、職員定数のあり方も含め、時代に即応する行政執行体制の確立に努めているところであります。

を図りつつ、輝かしい将来の、甲府市の都市づくりに向けて、着実に執行に努力してまいりたいと考えております。

行政サービスや防災等の拠点としての市庁舎については、県庁舎やシビックコア地区の整備、中心部の活性化などを視野に入れて、市民の期待に応え得る最良な条件で建設することが必要ではないかと考えます。その建設を、新総合計画に位置づけてまいるため、現在、新庁舎建設検討委員会において研究しているところであります。

### 市中央部へ

#### 福祉拠点交流施設を

【問】春日地区にある旅館が、長い歴史を閉じ解体売却されるとのことだが、当局では、財政厳しい折とは思いますが、中央部への福祉拠点交流施設として利用されるよう、取得について検討すべきではないか。温泉付き旅館であり、近隣には公園もあり、半径1km以内に市中央部がすっぽり入り高齢者が歩行往来するにも適度の距離と思う。また、中心部の活力の復活には集客施設の新設こそ必要で、施設は中心街にも近く、買い物等の利便性に富み中心街の活性化にもつながると考えるが。

【答】人口のスプロール化や核と

## 平成 8 年 9 月定例会質問要旨

氏名	会派	質問の要旨
早川 武男	新政クラブ 代表質問	主要事業の実現及び新庁舎問題について 土地利用と権限の委譲について 中核市づくりと合併について
川名 正剛	新政クラブ 一般質問	財政構造(財政の実態)と行政改革について 水資源対策及びEMボカシの普及について 浅草街大火災の復興計画と支援状況並びに 中心商店街の活性化について
海野平八郎	新政クラブ 一般質問	財政運営方針(事務事業の民間委託)について 学校給食について 国民健康保険の改善策について
柳沢 暢幸	新政クラブ 一般質問	行政改革(行政のリストラ)について 固定資産税について 中心部の再開発について
清水 俊彦	新政クラブ 一般質問	中央部への老人福祉センター建設について 通学路の安全確保について 公園緑地の活用について
保坂 一夫	21世紀クラブ 代表質問	新山梨環状線北部ルートについて 高齢者福祉施策について 地域防災訓練について
福永 稔	21世紀クラブ 一般質問	市長の政治理念とリーダーシップについて 「中核都市構想」への具体的取り組みについて 児童・青少年の育成について
石原 剛	日本共産党 代表質問	市長の政治姿勢について 自主的行政改革について 中学校給食の早期実施について
大村幾久夫	公明 代表質問	0-157対策について 脳検診の実施について 在宅介護慰労金アップについて
雨宮 年江	民主クラブ 代表質問	今後の財政見直しについて 障害者の職員採用について 女性政策について
山田 厚	社会民主党 一般質問	消費税増税についての基本的見解について 高齢者保健福祉計画の遅れについて 高齢者が支える自治会の負担とその軽減について

なる集客施設不足、交通アクセスの問題等々により、市中央部の活力が低下傾向にあることは、大きな政策課題であると受けとめております。

この対策については、道路交通や広場の整備、買い物、娯楽、食事など、一日を通じて楽しめるストリー性のある街なみなどの魅力ある街づくりや、活気ある商店街づくりとともに、若者からお年寄りまで楽しく交流できる場や、にぎわいを創出できる施設の整備も必要であると考えております。

こうした観点から、具体的にご提示のありました個所についても、中央部の活性化を促進し得る公共施設の配置など、今後の施設づくりを総合的に検討する中で前向きに対処して参りたいと存じます。

### 指定避難所ごとの

### 防災組織・訓練を

【問】九月一日に市内の各自治会連合会単位での地域防災訓練が、各小学校で市の地域連絡員との連携のもと行われたが、実際の指定避難所は二十八地区八十八カ所があり、この訓練形態が、いざ、というときの役に立つのか、逆に混乱を招くのではと懸念されます。訓練は各地区の小学校一カ所で行われましたが、実際の避難所は、

各地区数カ所に分れており、いざというときに誰が中心となり地域連絡員と連携を取るのか明確になっていません。

指定避難所毎の自主防災組織との連携を含めた体制確立と、これによる実際の訓練の実施も必要と考えるが、地域防災計画の見直しに盛り込む考えはないか。

また、高齢者の防災対策、避難対策についても一定の指針を示すべきと考えるが。

【答】各地区における防災訓練は避難訓練を含めて、各小学校で実施していますが、ご指摘にありますように、自主防災組織ごとの指定避難所へ避難する訓練は、本市の地域連絡員の整備や、自主防災組織の指導者の育成、また、避難場所のスペース等いくつかの問題もありますので、今後、各自治会連合会と具体的に協議を行い検討してまいります。

次に、高齢者の防災対策、避難対策については、高齢者に対する防災対策の基礎的な知識の啓発、普及及び援助体制の確立を図るために、各地区防災訓練へ自主防災組織の一員として積極的に参加できるように働きかけてまいります。また、援助を必要とする一人暮らしの老人等に対しては、ふれあいペンダントの活用等により、自主防災組織や民生児童委員等のボランティアとの連携を図る中で、避

難誘導体制の整備等を検討してまいります。

### 「中核都市構想」

### 具体的な取り組みは

【問】中核市の要件は、人口三十万人以上を条件とされているが、この条件をクリアするには、試算では一市十町二村を対象としなければならぬ、当局が対象とされている町村と人口想定について、さらに、「中核都市構想」とは、現在の「広域行政事務組合」の充実強化なのか、それとも従来の一市五町へ東八代を加えた、当面は「広域連合」を目指すのか、あるいは、当初から市町村合併を念頭に置いていた三十万人以上の中核市を前提にしているのか示せ。

【答】本市は、交流と連携を基軸に、本市の持つ都市機能を基盤として、周辺町村との一体的な発展を目指した、中核都市構想を推進しようとするものでありますが、この場合、一市五町との関係及び東八代地域、さらには盆地全体を視野に入れ、行政効果、権限委譲のメリットを享受できる人口三十万人以上の中核市への取り組みが必要であると考えております。一部事務組合、あるいは新たに創設された「広域連合制度」は、複数の自治体が複合的に事務を処

理するものでありまして、広域的に行政を進めるうえで有効な手段であると考えております。

一方、中核市制度は自治体そのものの規模能力に着目したものであり、住民福祉の一層の向上を目指すためには、自主的、自立的なまちづくりが必要であり、そのためには、中核市としての規模を指し、相応の権限を持つことが重要であると認識しております。

いずれにいたしましても、本市は、周辺町村との交流、連携を進めるとともに、諸施策を通して、本市が県都甲府市として魅力あるまち、親しみのあるまちを創造していくことが肝要であると考えております。

### 脳の健康診断

### 「脳ドック」の実施を

【問】人間ドックは、各種の疾病を早期発見・予防することに大きな役割を果たしているが、さらなる市民の健康増進と医療費増高の抑制のため、脳の検診、脳ドックの実施が必要ではないか。脳出血や脳梗塞、脳卒中は、自覚症状のないまま突然発病するのが特徴であり、重い後遺症の残ることが多く、治療にも高額のコストがかかる。これらの疾病を未然に防ぐには、脳の健康診断である脳ドックを受

けることが最も効果的と言われ、近年急速に各地で国保助成事業の一つとして実施されており、費用の二分の一、二万円から二万五千円を限度に助成されているが、本市においても実施する考えはないか。

【答】人間ドックは、自覚されていない各種の慢性疾患や成人病の早期発見に大きな成果をあげています。検査項目の中に脳検診を加える件については、人間ドック委託機関の内、MRIの受診可能な施設と他施設との関係や、国保会計が負担する割合等、保健事業経費比率を考慮する中で、関係機関と協議するなど検討課題とさせていただきます。

### 「女性政策」

### 女性の行動・バックアップを

【問】女性にとつて学習する時期はもう過ぎ、これからは、学習し身につけてきたものを生かして、具体的な行動をおこす段階にきているのではないか。

行政は、こうした女性自らが持つ力をバックアップするような施策を推進することが大切ではないか。

【答】昭和五十年に国連が提唱した、全世界の女性の地位向上のための運動は、すでに二十年余をか

ぞえ、女性の地位向上はあらゆる分野において確実なものになりつつあります。

甲府市においては、全国的にも早い昭和五十三年に、総務部に婦人対策担当を設け、現在にいたっております。この間、女性行動計画、女性プランと二度にわたって女性政策の目標とするプラン（計画）を策定し、そのプランに沿ってあらゆる分野の女性のための施策を推し進めているところであります。

昨今の時代の要請の中で、女性の高学歴化、自己実現の達成願望、価値観の多様化などにより、少子化傾向にあることは否めません。いずれにしましても、女性の社会参加や自己実現に役立つ共生社会をめざすことが肝要と考えておりますので、今後においても、そのための諸施策の展開に取り組んで参ります。

### 高齢者が支える自治会活動 過度な負担・安全対策は

【問】自治会活動について、行政は本来すべきことを、地域の自治会におねがいしすぎるのではないかと。行政と連携した自主的な自分たちの街を良くするための自治会活動は必要だが、今日の自治会活動は献身的な高齢者が支えてお

り、高齢者への過度な負担は望ましくない。例えば、自治会の協力を得て行う河川清掃、側溝清掃、降りの河川清掃、重いコンクリートのふたを持ち上げての側溝清掃など、事故あるときは必ず重大災害となる。危険な個所は行政の責任で行うべきではないか、また、作業全体の安全基準を作成することも検討すべきだ。

【答】「まちづくり」は行政の対応とともに、市民の皆様の参画をいただくことが大切であり、行政と市民が協力してこそより良い地域づくりがなされるものであります。自治会活動に積極的に参加されております、役員の多くは、いわば、現役を引退し、これまでに習得した知識や経験を地域社会に還元し、奉仕していこうとする考えの方々でありますから、高年齢化してきております。

市と自治会連合会との関係は、業務委託契約を通して、広報紙等の配布を依頼しておりますが、最近、依頼文書等が増加傾向にあります。情報の提供を効果的かつ効率的に行うため、市民へのお知らせについては、できる限り「広報紙」を活用して参りたいと考えております。自治会活動の際には、参加される市民の皆様の安全が講じられるよう役員会等を通じ周知

徹底を図っております。「市民活動保険」は、活動中の不慮の事故を救済し、市民の皆様が、安心して市民活動を推進していただくための保障制度であります。河川清掃及び側溝清掃は、地域一斉、または各地区ごとに計画され、自治会及び関係団体の自主的な協力を得て本市の環境美化事業への協力をいただいております。河川、側溝清掃作業上危険な場所もあるようですので、各自治会等と協議をし、さらに安全対策を講じてまいります。

### 常任委員会 審査の 主な内容

#### 総務委員会

- ◆五案件を可決・認定
  - 甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
  - 甲府市消防団員退職報償金支給条例の一部改正
  - 町の区域の変更
  - 市政功労表彰者の決定
  - 平成七年度甲府地区開発推進協議会決算の認定
- 五案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決・

認定するものと決しました。○平成八年度甲府市一般会計補正予算（総務委員会所管分）を可決  
甲府駅周辺シビックコア地区形成検討事業について、甲府市の負担が更に大きくならないよう十分な調査・研究を求め意見がありました。また、地元負担を軽減しつつ地域消防力の充実・強化ができるよう、施策の見直しを要望する意見がありました。

◆（仮称）南部地域市民センター建設（建築主体）工事請負契約の締結を可決  
議案に関連し、市内中心部の活性化のためにも、中心部への市民センター機能を備えた公共施設の設置を要望する意見がありました。◆請願を採択  
除籍簿、除かれた戸籍の附票等の保存期間延長に関する請願書については、全員異議なく採択するものと決しました。

#### 民生委員会

- ◆四案件を可決
  - 甲府市市立の高等学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正
  - 平成八年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算
  - 平成八年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算

○平成八年度甲府市一般会計補正予算（民生文教委員会所管分）四案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。◆（仮称）甲府市心身障害者総合福祉センター建設工事請負契約の締結を可決  
建築主体工事及び空調設備工事請負契約の締結については、施設の完成に併せて敷地内に植栽を施し、潤いのある環境づくりを目指すよう要望がありました。

◆請願を採択  
留守家庭児童会未開設小学校区の早期解消と児童館等の増設に関する請願書については、全員異議なく採択するものと決しました。

#### 経済委員会

- ◆二案件を可決
  - 平成八年度甲府市一般会計補正予算（経済都市開発委員会所管分）
  - 平成八年度甲府市中央卸売市場事業会計補正予算
- 二案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

#### 水道委員会

- ◆四案件を可決
  - 甲府市市営住宅条例の一部改正

○市道路線の変更認定(中央側道十号線)

○市道路線の認定(丸の内三丁目十二号線)

○市道路線の認定(中上今井線)

四案については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、丸の内三丁目十二号線は、道路形態が変則である。ことをたまたしたのに対し、変形となった部分については、道路管理上から緑地帯として整備していくとの答弁がありました。

また、中上今井線について、立体交差の計画を平面交差にする理由をたまたしたのに対し、将来的には、さらに西側へ延長する構想としていたが、現時点では、国道と接続するまでの区間で事業を終了させ、今後は、複数型まちづくり市町村道整備モデル事業道路の位置付けの中で整備していきたいとの答弁がありました。

◆平成八年度甲府市一般会計補正予算(建設水道委員会所管分)を可決

住宅建設は景気回復の上からも重要な役割を果たしているため、予定どおりの事業が実施できるよう県を通じ国に働きかけることを要望する意見がありました。

◆請願を採択

治水事業の促進を求める請願書については、全員異議なく採択するものと決しました。

銃器犯罪の根絶に関する決議

近年、銃器の不法所持、さらには銃器による犯罪は増加の一途をたどり、その被害は無防備で善良な一般市民にまで及んでいる。平和で明るく住み良い社会の実現は、市民すべての願いであり、この実現のためには、暴力団の銃器の入手を阻止するとともに、国外からの流入や暴力団からの流出による一般社会への銃器の拡散を防止し、銃器犯罪を社会から根絶することが緊急の課題である。よって、甲府市議会では、警察を初めとする関係機関と協力して、銃器犯罪の根絶に邁進し、もって安全で住み良い甲府市の実現を期するものである。以上決議する。

平成八年九月十三日

甲府市議会

決算審査特別委員会を設置

本定例会に、「平成七年度甲府市各会計別決算の認定について」、「平成七年度甲府市各企業会計別決算の認定について」の議案が提出されました。



委員長 飯沼 忠

議案では、九月十三日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」を設置しました。

そして、委員十四名を次のとおり決め、閉会中の継続審査に付することにしました。

委員会の審査結果は、十二月定例会で報告する予定です。

副委員長 金丸 三郎

委員 小沢 綱雄

清水 節子

谷川 義孝

山村 勝一

岡田 修

細田 清

上田 英文

海野平八郎

原田 英行

福永 稔

秋山 雅司

山田 厚

意見書

関係機関へ提出

(要旨掲載)

◆道路整備予算確保に関する意見書

一 道路整備促進のため、道路特定財源諸税の現行税率を堅持するとともに、国及び地方の道路整備財源を確保すること。

二 道路整備の緊急性、重要性を深く認識されるとともに、平成九年度予算編成に当たっては、道路整備予算を重点的に確保すること。

◆除籍簿等の保存期間延長に関する意見書

一 除籍簿の保存期間八十年を百年に延長すること。

二 除かれた戸籍附票の保存期間五年を二十年に延長すること。

三 除かれた住民票の保存期間五年を二十年に延長すること。

◆米軍実弾射撃訓練の北富士演習場への移転に反対する意見書

今、沖縄県民を始め多くの国民が望むものは、沖縄の施設の国内移転ではなく、米軍の軍事施設の縮小であります。

特に山梨県民は、県有地である北富士演習場返還に向けて、一貫した運動を続けてきた経過があり、県民の願いは尊重されなくてはなりません。



よって、政府におかれては、日米友好促進の見地から、沖縄県民の要望と国内米軍基地問題を早急に解決されることを強く要望いたします。

◆治水事業の促進に関する意見書(陳情書)

治水事業は、国土を保全し、水害・土砂災害及び渇水被害から国民の生命財産を守り、豊かで活力のある経済社会と安全で快適な国民生活を実現するための社会資本整備のなかで、最も優先されるべき根幹的な事業である。

国においては、平成九年度を初年度とする「第九次治水事業五カ年計画」の策定にあたり、現行計画を大幅に上回る総投資額の確保と早期策定を強く要望する。

九月定例会

審議日程

9月6日(金) 開会、提案理由の説明

7日(土) 休会

8日(日) 本会議、質疑及び市

9日(月) 政一般質問

10日(火) 本会議、質疑及び市

11日(水) 政一般質問、各常任

12日(木) 委員会付託

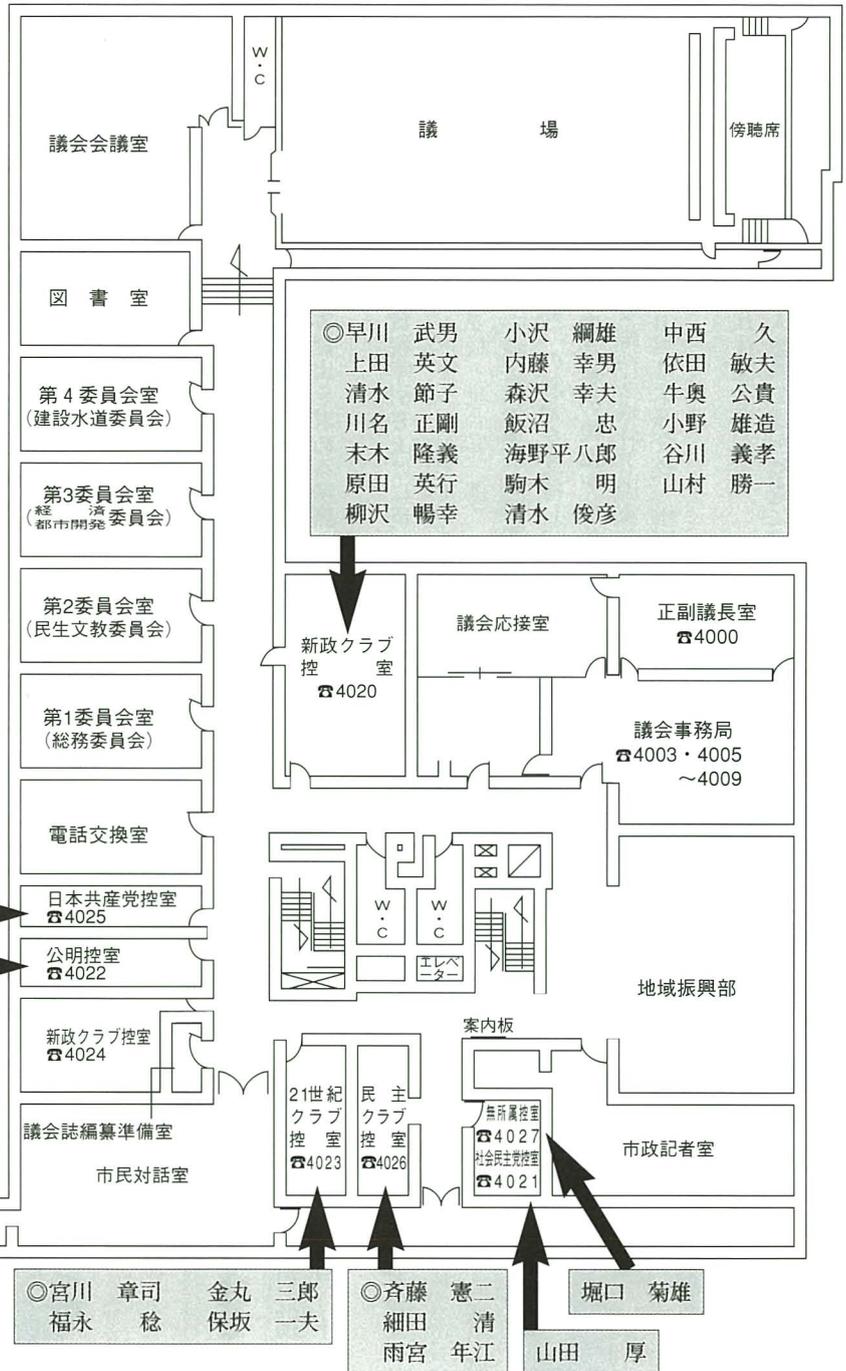
13日(金) 各常任委員会

本会議、各常任委員長報告、決算審査特別委員会設置、閉会

# 議会関係各室案内

電話代表 (0552) 37-1161

## 《市役所本庁舎二階》



議会関係各室の案内図です。  
議員の控室は本庁舎二階にあります。  
また、本庁舎入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご用の方は表示板をご確認の上、議会事務局までお申し出ください。  
(◎会派代表者)

- ◎加藤 裕 岡田 修  
石原 剛
- ◎堀内 征治 秋山 雅司  
大村幾久夫

## 《本庁舎正面入口》

- ◎宮川 章司 金丸 三郎 齊藤 憲二  
福永 稔 保坂 一夫 細田 清  
雨宮 年江
- 堀口 菊雄  
山田 厚

### 常任委員会委員の変更

経済都市開発委員会の小沢綱雄委員が建設水道委員会に、建設水道委員会の堀口菊雄委員が経済都市開発委員会に所属変更になりました。

### 会派の構成に変更

新政クラブ所属議員の堀口菊雄氏が八月二十九日付けで無所属となりました。

- 市議会の会派の構成は次のとおりになりました。
- ◇新政クラブ二十人 ◇21世紀クラブ四人 ◇日本共産党三人
  - ◇公明三人 ◇民主クラブ三人
  - ◇社会民主党一人 ◇無所属一人

### 議会を傍聴しましょう

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や、市政の方針、審議状況を直接傍聴することができます。

傍聴手続きは、直接議場に來ていただき、傍聴人受付簿に自己の住所、氏名及び年齢を記入するだけでどなたでも傍聴できます。

次の定例会は、十二月の予定です。

お誘い合わせの上、お越しください。

# 請願・陳情 の審査結果

## 請願

### ▼採択されたもの

〔総務委員会〕

- 除籍簿、除かれた戸籍の附票等の保存期間延長に関する請願（山梨県司法書士会会長・佐藤幸雄ほか一団体）

〔民生文教委員会〕

- 留守家庭児童会未開設小学校校区の早期解消と児童館等の増設に関する請願（新紺屋小学校留守家庭児童会の開設を求める会代表・陣内玲子）

〔建設水道委員会〕

- 「治水事業の促進」を求める請願（甲府市水防団団長・林博）

### ▼みなし採択として処理したもの

〔総務委員会〕

- 「米軍基地存続にかかわる沖縄県民の四つの要求を支持し、その実現を求める意見書」採択を要請

する請願（山梨県平和委員会代表理事代行・広田康成）

- 米海兵隊が沖縄で実施している実弾砲撃演習の富士演習場を含む本土移転に反対する意見書の提出を求める請願（進歩と革新をめざす山梨懇話会代表世話人・関本立美）

- 米軍実弾射撃訓練の北富士演習場への移転反対の意見書提出を求める請願（甲府市職員組合執行委員長・坂本俊美ほか二団体）

### ▼継続審査するもの

〔総務委員会〕

- 市民活動促進支援（NPO）法制定のための意見書提出を求める請願（六戸良一）

- 情報公開法の早期制定のための意見書提出を求める請願（坂本一男）

- 消費税率引き上げに反対する請願（消費税廃止山梨県各界連絡会代表委員・星合弘三郎）

- 治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を支持し、政府に對し意見書の提出を求める請願（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟山梨県本部会長・松原重利）

〔民生文教委員会〕

- 老人健診の選択検査に腹部超音波検査を追加することを求める請願（甲府共立老人健診連絡会代

表・手塚佳樹）

- 中学校完全給食を求める請願（甲府市の中学校給食を実現する連絡会会長・小林豊子）

- 老人健診の選択検査に腹部超音波検査を追加することを求める請願（飯田北部老人クラブ会長・草間幸男）

- 「介護保険法案」の国会工程に反対し、国民本意の介護保障制度の早期確立についての意見書の提出を求める請願（山梨県高齢者運動連絡会会長・小林正巳）

## 陳情

### ▼継続審査するもの

〔総務委員会〕

- 鉄道共済年金は正に関する陳情（国鉄退職者組合甲府支部議長・小林匡）

## 「声の市議会だより」 をご利用下さい

目の不自由な方のために、紙面の全文を吹き込んだカセットテープをお貸ししていますので、ご家族やお知り合いの方でご希望の方がいらっしゃらば、議会事務局調査係（☎三七一一六一 内線四〇〇七）までご連絡ください。

## 市政功労表彰者二氏を可決

市政の進展、教育振興に寄与した功績が多であることから、甲府市市政功労表彰者詮衡委員会の答申に基づき、

京嶋幸男氏、三神俊一郎氏、楠恵明氏をそれぞれ市政功労表彰者として決定する議案が



京嶋幸男氏



楠 恵明氏



三神俊一郎氏

提出され、全員異議なく原案のとおり可決されました。

## 議員互助会 研修会を実施

市議会では、議員互助会主催の自主研究会を、八月二十八日に実施しました。

この研修会は、講師に帝京大学山梨文化財研究所研究部長の萩原三雄氏を招き、「甲府城の歴史と



復元整備」と題し、甲府城の築城の歴史と政治背景、甲府城の整備復元への展望等について熱心に受講しました。

## 編集後記

厳しい残暑の中に九月議会が始まりました。

今議会は、質問者も多く実りの秋にふさわしい中身の濃い議会でした。十三日の最終日にはいくつかの意見書が出されましたが、いずれも市民の日常生活の安全性や、国政にかかわる問題ばかりで、厳しい世相を反映しているものばかりでした。

巻頭の花シリーズ「コスモス」が一服の清浄剤になれば幸いです。議会事務局 三五七七〇五四